



< 7月号 >

# 朝三中だより

朝霞市立朝霞第三中学校  
令和元年6月28日発行

〒351-0023  
朝霞市溝沼 1043-1  
TEL 048 (464) 7575  
FAX 048 (460) 2280

< 目指す学校像 > 一人一人が輝き 感動と笑顔あふれる学校

## 大人からの励ましの言葉

校長 九鬼 武



3年生にとって最後の公式戦となる学総大会地区予選が6月16日から行われました。本校では、男子バレーボール部の優勝を始め、多くの部で県大会出場を決めてくれました(裏面参照)。県大会でも今までの練習の成果を存分に発揮し、悔いのない試合をして欲しいと思います。

また、惜しくも負けてしまった部の人たちは本当に残念でした。また、3年間努力を続けてきても、残念ながら最後の試合に出られなかった3年生もいます。競技によってレギュラーの人数が決まっているので仕方のないことですが、それでも、仲間のプレーに大きな声援を送り、拍手をしている姿は、チームの一員として立派に試合に参加していました。そのような生徒には改めて、今までの練習にも耐え、よく頑張ってきたと心からエールを送ります。たとえ出場機会がなくても、今まで頑張ってきたその姿勢は、これからの人生に必ず大きな糧となるはずです。情熱を持ち続けること、そして粘り強くやり続けることは、将来の人生における成功をつかむための重要な資質です。自信をもって、次の目標に向け準備し、取組を継続してください。

さて、スポーツ界では、陸上のサニブラウン選手が100mで9秒97の日本新記録をマークしたり、バスケットでは八村塁選手が米プロバスケットボール NBA のドラフト会議で日本人初となる1巡目、全体9位でウィザーズから指名されるなど、日本の若き才能の活躍が連日のように報道されていました。

八村選手は小学校の時は野球をしており、中学校からバスケットを始めたそうですが、その時のコーチは、ハーフという自身の容姿に悩んでいるように見えた八村少年に「小さな世界で物事を見るな。お前はNBAを目指せばいい。」と言って励ましていたそうです。八村少年はその言葉を素直に受け止め練習に励み、高校では全国高校選手権で3連覇、アメリカの強豪ゴンザカ大学に入学してからも活躍し、ポジション別最優秀選手に選ばれるなどしての今回のドラフトでした。指名された後のインタビューでは、「中学時代のコーチの、『NBAに行くんだ』という言葉信じてやってきて、ここにいる。信じられない。本当に夢みたい。」と語っていました。

中学時代のコーチの一言が彼を支え、彼の人生までも変える力になったことに、驚きと感動を覚えます。

また、先日、女優の蒼井優さんとの結婚が発表されたお笑いコンビ南海キャンディーズの山ちゃんこと山里亮太さんは、以前、不慣れな落語会を前に緊張と不安を抱え、いたたまれず母親にLINEをしたところ、右のような返事が届いたそうです。

母親の我が子を信じる優しさが、ひしひしと伝わってきます。この言葉で、山里さんは自分の中の不安な気持ちを、前向きな気持ちに切り替えることができたのだらうと思います。

大人からの励ましの言葉。その一言が子どもに自信を与え、時にはその子の人生を変えることもある。そう考えると、子どもに関わる大人皆で、子どもへの励ましの言葉を大切にしたいと思います。

努力して結果が出ると自信になる  
努力せずして結果が出ると驕り(おごり)になる  
努力せず結果も出ないと後悔が残る  
努力して結果が出ないとしても経験が残る  
努力してその日を迎えたんだったら、  
何も残らないことはないから行っといで

母